社会	資本総合整備計画事後評価書		令和03年07月20日
計画の名	称 3.総合防災拠点機能を高める公園整備の推進(防災・安全)		
計画の期	間 平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	重点配分対象	の該当
交付対象	安芸市,高知県	·	
計画の目	標・総合防災拠点(地域拠点)及びSCU(広域搬送拠点臨時医療施設)として位置付けられている西八幡公園の既存施設(野球場)の改修を行い、災害時における拠点施設としての機能を高める。		
	・南海トラフ地震に備えた防災機能の向上や、公園施設の老朽化に伴う機能保全・向上対策による安全性の確保のため、防災拠点としての機能を有する公園の整備や施設の改築・更新等を行い、		
	誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。		
全体事	業費(百万円) 合計(A+B+C+D) 6,543 A 6,543 B 0 C 0 D 0 効果促進事業費の割合	C/(A+B+C+	D) 0 %
	計画の成果目標(定量的指標)		
番号	定量的指標	票の現況値及び目標値	Ī
省 写	定量的指標の定義及び算定式	中間目標値	最終目標値

		計	画の成果目標(定量的指	標)				
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
田与	定量的指標の定	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
						(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	・総合防災拠点(地域拠点)としての機能を十分に発揮するために、拠点本部室等の	確保及び進入路の整備						
	・高知県東部エリアの地域防災拠点本部として活動可能な屋内スペースの確保					154m²	154m²	250m²
	-							
2	・広域拠点における災害関連施設としての利用割合							
	・災害時における防災関連施設の利用可能率					82%	82%	94%
	(災害時の防災関連施設利用率)=(災害時に利用可能な施設面積)/(全防災関連施	起設面積)						
						_		
			T			T	T	T
	備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																	
		事業	地域	交付	直接		4番別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /			間(年度)		費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	争耒白 	【里力」!	【里力】 4	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H29 H3	0 H3	1 R02 R03	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	より期待	される効果											
		備考															
都市公園・緑地等事		公園	一般	安芸市	直接	安芸市	-	-	都市公園等事業(西八幡	野球場改修	安芸市				3,543	_	策定済
業	A12-001								公園)							i	
								.1					•				
		公園	一般	高知県	直接	高知県	-	-	都市公園事業(春野総合	防災拠点施設整備等	高知市				3,000	-	策定済
	A12-002								運動公園)							İ	
														-11			-
		過年度は	別事業で	で実施													
											小計				6,543		
								.1					•				
											合計				6,543		
	!																
								.1				-	•				
																,	
								.1	1		1						
																,	
					T											·	
				1		_1		.1	1		1			1 1			
						-											

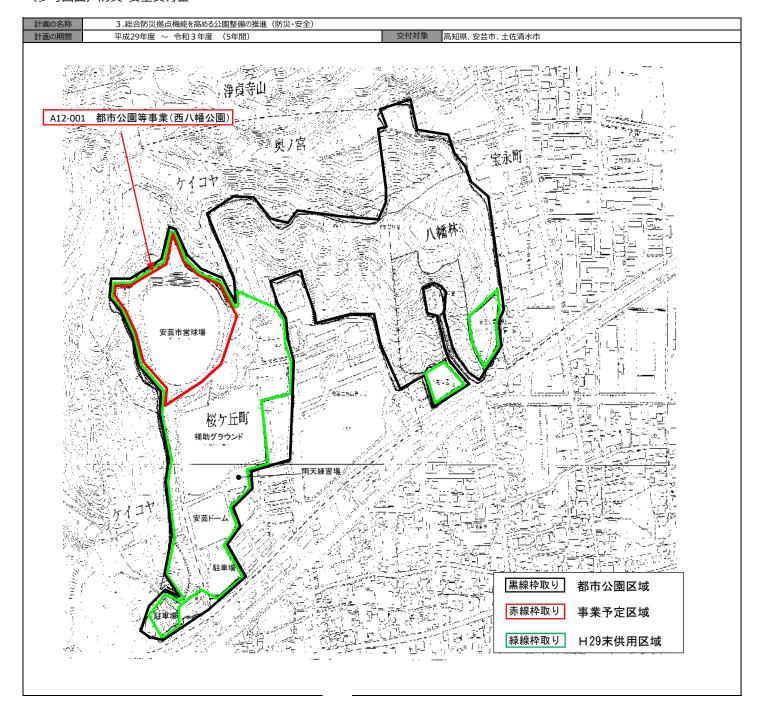
1 案件番号: 0000338636

	事後評価
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高知県公園下水道課内で実施	令和3年7月
	公表の方法
	高知県庁ホームページ
 事業効果の発現状況	
争未知未の光境が近	1
	1 西八幡公園野球場のライト側進入路周辺整備を優先したことにより、屋内スペースの確保は進まなかったが、災害時にも活用できる耐震性貯水槽を整備し防災対応力の向上を図ることができた。2 春野総合運動公園は、大規模災害時の総合防災拠点のひとつとなっているが、物資配送拠点の屋内運動場や自衛隊の活動拠点となる野球場の耐震化を実施することで防災対応における拠点整備が進展した。
	2 春野総合運動公園は、大規模災害時の総合防災拠点のひとつとなっているが、物資配送拠点の屋内運動場や自衛
定量的指標に関連する	
交付対象事業の効果の発現状況	
定量的指標以外の交付対象事業の	
効果の発現状況(必要に応じて記述)	
为未必为此机况(如安尼尼·巴巴)	
特記事項(今後の方針等)	
令和2年度からは、社会資本総合整備	計画「1.安全で安心な公園整備の推進(防災・安全)(第2期)」において災害時の拠点整備を継続していく。

日	標値の達成		
	+15.+m / m/s		
番号	目標値 /		目標値と実績値に差が出た要因
			揮機能、情報通信機能における必要スペース
1	最 終		災害時に災害対策車両等のスムーズな通行を確保するため、西八幡公園野球場のライト側進入路周辺整備を優先的に実施したこともあり屋内 スペースの確保が進まなかった。
	最 終 実績値	154m²	
	(災害時	の防災関連施設利用率) = (災害時に利用可能な施設面積)/(防災関連施設面積)
2	最 終 目標値	94%	春野総合運動公園の野球場耐震化により94%を目標としていたが、併せて屋内運動場の非構造部材の耐震化も終了したことにより目標を上回 る実績を上げることができた。
	最 終 実績値	97%	

1

案件番号:0000338636



(参考図面) 防災・安全交付金

